

「第18回 製剤機械技術学会 仲井賞」
受賞者の選考結果について
18th NAKAI Award of Japan Society of
Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員会 委員長 山本 浩充
Hiromitsu YAMAMOTO
Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立10周年を機に、2000年より表記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。

仲井賞選考委員会において、応募内容について新規性、実用性、社会における貢献度の観点から、慎重かつ厳正に審査した結果、下記を「第18回 製剤機械技術学会 仲井賞」受賞者として会長に報告し、理事会にて受賞者が決定いたしました。

記

・授賞者：今井 聖、村上 聡、米田 睦仁、安達 岳郎、星野 嵩宜
(フロイント産業株式会社)

・授賞業績題目：インクジェット式次世代錠剤印刷技術

・授賞理由：錠剤への印刷技術は、一包化調剤時の調剤過誤の防止や、調剤監査の正確性向上や迅速化に有用である。また、患者のアドヒアランス向上も期待できるなど、非常に重要な技術として近年注目を集めている。候補者らが開発したインクジェット式次世代錠剤印刷技術は、錠剤の搬送方法を、従来用いられてきたベルトコンベア方式からディスク方式への変更と高度な認識技術との融合によって、印刷が適用できる錠剤の汎用性を高めることに成功している。実績はこれからであるが、新規技術に挑戦しつつ、低コスト化なども考慮した設計がなされている点は、社会貢献の観点からも評価に値する。さらに、得られた知見を特許だけでなく、様々な学会や紙面などで積極的に公表していることも高く評価される。

以上のように、本業績は、新規性・進歩性、社会的貢献度から特筆すべき技術水準と判断でき、仲井賞に正に相応しい業績であると考えます。

以上